

令和6年度 教育事業実施報告

1 教育事業名 令和6年度「美ら島サンゴ大作戦」

2 ね ら い 国立公園にも指定される慶良間諸島の美しいサンゴ礁をフィールドに、スノーケリングによるサンゴの観察や、専門家によるレクチャーの受講などの体験を通じて、自然に対して興味関心を持ち、自然と人間の共存について考え行動できる人材を育成する。サンゴを題材に生物多様性や環境問題にも話題を展開し、参加者が自身の考え・思いを深め、現在の環境問題を自分事として捉える機会を提供する。さらに、グループでの活動や話し合い、まとめの発表などを通じて、仲間とともに一歩踏み出すことができる課題解決能力（学びに向かう力、人間性の向上）を育む。今回は「自分の視点」からサンゴ礁とのかかわりを考える」を事業テーマとする。

3 期 日 令和6年10月12日（土）～14日（月）2泊3日

4 場 所 国立沖縄青少年交流の家・海洋研修場

5 募集定員 24名

6 参加人数 24名

7 参加者内訳 小学5年生 9名、小学6年生 4名
 中学1年生 5名、中学2年生 4名、中学3年生 2名
 （男子13名、女子11名）

8 講 師 ・谷口 洋基 氏（慶良間諸島国立公園ビジターセンター さんごゆんたく館 館長）
 サンゴとサンゴ礁のはなし
 ・森 有紀子 氏（特定非営利活動法人 海の自然史研究所）
 サンゴのテリトリーウォーズ
 ジブングトとミヂカゴトについて考える
 ・米田 英明 氏（琉球新報社通信員）
 サンゴと島の暮らし～渡嘉敷集落散策～

9 実施プログラム

10/12 土 長潮 満潮0:39(159cm) 16:00(166cm) 干潮8:30(66cm) 21:28(122cm)													
9:00	10:00	11:15	11:45	12:00	13:00	16:30	17:00	17:30	18:00	19:00	20:45	21:00	21:30
集合	フェリー	移動	開会式	昼食	13:00-16:00 海洋研修場 スノーケリング① スノーケリングの基礎	本館移動	オリエンテーション	入浴	夕食	19:00-20:45 本館2F講堂 サンゴとサンゴ礁のはなし	ふりかえり	就寝準備	就寝

10/13 日 若潮 満潮2:44(165cm) 16:42(182cm) 干潮9:49(55cm) 22:27(100cm)																		
6:00	7:00	7:45	8:45	10:00	10:45	11:15	12:15	15:15	15:30	16:45	17:00	17:30	18:30	19:15	20:15	20:30	21:00	21:30
起床	つどい	朝食	8:45-10:00 本館2F講堂 サンゴのテリトリーウォーズ	海の資料展示室見学	移動	昼食	12:15-14:45 慶良間海峡沿岸 スノーケリング② サンゴウォッチング	移動	15:30-16:45 渡嘉敷区 サンゴと島の暮らし	移動	つどい	夕食	18:30-19:15 本館2F講堂 ジブングトとミヂカゴトについて考える	班ごとまとめ	ふりかえり	入浴	就寝準備	就寝

10/14 月 中潮 満潮4:04(183cm) 17:16(197cm) 干潮10:44(43cm) 23:11(75cm)															
6:00	7:00	7:45	8:30	8:45	9:15	10:45	11:15	12:00	13:30	14:00	14:15	14:30	15:30	16:45	17:15
起床	つどい	朝食	清掃点検	移動	9:15-10:45 海洋研修場 スノーケリング③ サンゴウォッチング	片付け	昼食	班ごとまとめ	発表	開会式	移動	乗船	フェリー	報告会	解散

10 事業の様子



スノーケリングの基礎



サンゴとサンゴ礁のはなし



サンゴのテリトリーウォーズ



慶良間海峡でサンゴ観察



サンゴと島の暮らし



ジブンゴトとミジカゴト



集合写真



まとめポスター作成



グループ発表

11 エピソード (参加者の声、アンケートより抜粋)

- ・毎日スノーケリングができて楽しかった
- ・とても楽しく、海がきれいで、驚きがたくさんある最高の3日間だった
- ・サンゴが意外と自分にとって大切なことがわかった
- ・サンゴの講話を聞いた後にスノーケリングをしたら前日と違って見えた
- ・白化したサンゴや死んだサンゴを見て、自分でできることは積極的にやろうと思った

12 担当者所見

(1) 成果

- ・参加者全員がスノーケリングの基礎技術を習得し、渡嘉敷島のサンゴ礁の美しさ・楽しさを体験できた。
- ・講師によるレクチャーで、サンゴの多様性、人間とサンゴ礁の関わり、サンゴ礁に関する環境問題などについて深く学び、各自が自分なりの考えを持つことができた。
- ・最終日のスノーケリングでは、それまでに身につけた技術・知識を活かして各自が目的をもって実施することができ、講師からも満足の声が寄せられた。
- ・発表課題「自分とサンゴ」について、グループで意見交換をしつつ、事業で体験したこと・学んだことを振り返りながら、参加者それぞれが意見を発表できた。

(2) 課題

- ・スケジュールが詰まっていたので、入浴時間やゆとりの時間など、参加者がリフレッシュできる時間がもう少しあっても良かった。
- ・事業後にスタッフから「発表課題が抽象的で難しかった」という意見があった一方、「各自の視点を醸成する上で良い経験になった」という意見もあがり、課題の設定は来年も十分に検討したい。
- ・2日目に船舶を使用する際、船長の海況判断により急な変更が生じたため、船長との十分な事前協議と、臨機応変に対応できる職員配置が必要である。